

網走家畜衛生情報

令和7年度(2025年度) 第5号(5月号外) 北海道網走家畜保健衛生所

生乳への抗菌性物質残留事故が連続で発生!

5月12日及び5月19日、オホーツク管内で生乳への抗菌性物質の残留事故が連続で発生し、今年度の発生件数は早くも2件となりました。いずれも治療牛や乾乳牛の誤搾乳が原因でした。

6月に入ると牧草収穫で多忙な時期を迎えます。今一度対策を徹底し、今後の発生を防止しましょう!

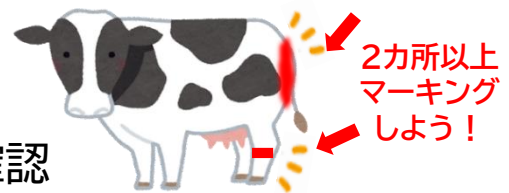
【発生原因と改善例】

○ マーキング忘れ、外れ、見落としによる誤搾乳

- ➡・**複数カ所**のマーキング(カラースプレーやマーキングバンド等)
- ・**治療の都度**マーキング

○ 治療薬を他の牛に誤投与

- ➡・投与時に治療牛が間違っていないか確認
- ・全ての搾乳作業者間の**情報共有の徹底**



○ 自主検査キットの不適切使用、検査結果の確認ミス

- ➡・キットの取扱いは**注意事項を遵守**
(操作手順、検査環境温度、判定時間を守る)
(キットの保管場所(温度、日当たり)にも気をつける)
- ・キットで正しく判定できない場合は公定法による検査を受検

○ 乾乳軟膏を乾乳舎へ移動する前に投与

- ➡・乾乳軟膏は**必ず乾乳舎へ移動させてから投与**
(牛舎の構造によってはマーキングも忘れずに!)

○ ロボット搾乳での情報登録ミス

- ➡・入力を忘れていないか、入力情報が正しいか、きちんと反映されているか等を**複数名で確認**